

## 進路を考えるにあたって

高等部は、卒業後の進路を決定していく大切な時期です。

卒業までの3年間で「卒業後にどのような生活を送りたいのか」「どんな仕事をしたいのか」「どのような職業に就きたいのか」など本人の希望や適性、保護者の希望に基づいた進路支援を行います。そのために、本人が卒業後の自分の進路に関心を持ち、考え、進路決定をしていけるように進路学習をします。

また、進路先の決める際には、本人・保護者を中心として学校、進路先、市町の福祉課、障害者支援機関、ハローワーク等の連携を図りながら支援を行います。

## 高等部・進路学習

### <目標> 卒業後の進路に向けて必要な力を育て、主体的に進路決定できる力を身につける

	各学年目標	校内実習	現場実習	見学・進路相談等
高1	<b>進路への関心</b> 進路について関心をもつ ・自分のことを知る。(プロフィール、得意なこと・苦手なことなど) ・自分の将来の仕事や生活について関心を持つ。 ・働くために必要なことは何かをつかむ。	<b>1学期</b> (2週間)  <b>2学期</b> (2週間)	<b>3学期</b> (1週間)	進路希望調査 福祉施設・企業見学会 進路説明会 進路相談
高2	<b>探索・試行</b> 自分の卒業後の進路を考える ・社会人になるための経験を広げる。 ・実習を通して、自分の適性を考える。 ・卒業後の生活を考える。		<b>1学期</b> (1~2週間) <b>2学期</b> (1~2週間)	進路希望調査 進路説明会 進路相談 進路懇談会
高3	<b>進路決定</b> 自分の進路を決定する ・これまでの実習を通して自分の適性を知り、進路先を決定する。 ・卒業後の生活を具体的に考える。 ・進路に関する情報の整理。		<b>1学期</b> (1~3週間) <b>2学期</b> (1~3週間)  * 必要に応じて臨時の現場実習を行う	進路希望調査 求職登録 移行支援会議 進路相談

進路学習は、「キャリア学習プログラム」及び「進路学習計画」に基づいて進めていきます。内容としては、現場実習・校内実習の他に「作業学習」「職業」「総合の時間」で行う進路学習や実習の前後に集中的に行う進路学習、実習に向けての目標・心構え、実習後の振り返り、校内実習オリエンテーション・実習壮行会・報告会等があります。

## 校内実習

高等部では、1年生を対象に2週間（1学期・2学期）、校内実習にそれぞれ取り組んでいます。

### <目的>

- ・ 就労に向けて自分の適性や課題を知る。
- ・ 働くために必要な知識や態度を身につける。
- ・ 卒業後の自分の進路に関心をもつ。

### <内容>

主に地域の会社からの委託作業（部品、等の組み立て、ゴムのバリ取り、検品作業等）を行います。簡単な作業から細かさ・丁寧さを求められ作業など、生徒に応じた作業を行っています。

これまで、以下の地域の会社からご協力いただいています。

ホクト合成（株）（いなべ市）、勢進産業株式会社（いなべ市）



## 現場実習

働くことを学ぶ学習として、1年生で1回、2年生で2回、3年生で2回、企業や施設・作業所での現場実習を行っています。現場実習の期間は、学年や実習先等の状況に応じて1~3週間です。

実習終了後には、実習先の担当の方に実習の評価を記入していただきます。学校では実習で学んだことの振り返りをし、今後の学習に生かしていきます。

### <目的>

学校とは異なった環境において生活・仕事を体験することにより、作業能力の向上と作業態度の育成を図るとともに、将来の社会参加ならびに自立に向けての意識を高める。

